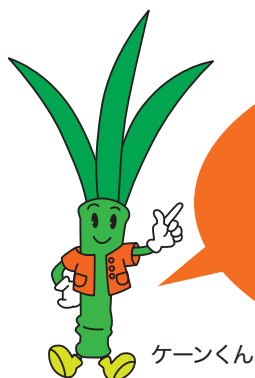


農林25号 NiH25

良く伸びて、干ばつ地域に適する

- 農林8号 (NiF8) より生育初期から伸長性に優れ、茎がずっしりと重く、干ばつ常発地域での収量性に優れた品種です。
- 出穂が少なく、葉焼け病に対する抵抗性に優れています。



農林25号 (NiH25) は、
平成20年に
沖縄県宮古島向けの
奨励品種に採用されました。

■ 主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
NiH25	やや不良	中	やや不良	極少	中	中
NiF8	良	中	良	多	やや強	易
NCo310	良	中	中	多	中	難

■ 病害抵抗性

	黒穂病	さび病	葉焼病
NiH25	弱	強	強
NiF8	強	強	強
NCo310	弱	弱	中

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



左: NiH25

右: NiF8

栽培上のワンポイント

- 春植えでは茎数がやや少なくなるので、通常よりも密植にして茎数を確保しましょう。
- 伸長性に優れ多収ですが、肥沃地では倒伏が激しく収穫が困難となるので注意が必要です。
- 黒穂病に弱いので、発生が確認された場合は抜き取り防除を行い、多発生地域での栽培は控えましょう。



協力：沖縄県農業研究センター (独)農研機構九州沖縄農業研究センター



独立行政法人
農畜産業振興機構

はさとうきび生産者の皆様を応援しています。